

平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト
 コード番号 8798 URL <http://www.advancecreate.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 濱田 佳治
 (氏名) 大原 勲

TEL 06-6204-1193

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	1,626	△5.2	108	△10.0	100	285.5	71	98.1
23年9月期第1四半期	1,715	6.9	120	20.6	26	10.0	36	43.4

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 73百万円 (—%) 23年9月期第1四半期 △0百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	6.75	6.74
23年9月期第1四半期	3.32	3.30

(注) 平成23年10月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
24年9月期第1四半期	6,352		3,563			56.1
23年9月期	6,089		3,738			61.4

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 3,561百万円 23年9月期 3,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年9月期	—	1,500.00	—	1,500.00	3,000.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 平成23年10月1日付で1株を100株に分割しております。

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,520	△11.2	438	△55.5	424	△45.2	254	△30.2	23.85
通期	7,250	0.4	1,130	△8.7	1,110	11.3	670	0.6	62.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期1Q	10,999,100 株	23年9月期	10,999,100 株
② 期末自己株式数	24年9月期1Q	417,775 株	23年9月期	334,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期1Q	10,633,446 株	23年9月期1Q	10,920,300 株

(注)平成23年10月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して期末発行済株式数及び期末自己株式数、23年9月期1Qの期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている当社の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。
2. 平成23年9月30日現在の株主に対し平成23年10月1日付をもって、株式分割しております。なお、「3. 平成24年9月期の連結業績予想」の1株当たり当期純利益は、当該株式分割の影響を考慮しております。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、歴史的な円高による企業環境の悪化、海外景気の下振れリスクなどの要因により、先行き不透明感はより一層増しております。また、将来見通しに関する消費者心理にはわずかながら改善の兆しが見られるものの、雇用情勢など環境面の厳しさは依然として継続しており、一進一退の景況感となっております。

このような状況のもと、当社グループは、日本最大級の保険比較サイト「保険市場（ほけんいちば）」を基幹とし、保険情報の提供から保険契約の締結に至るまでの「一気通貫型のサービス」を提供しております。お客様のあらゆるライフ・サイクルから派生する保険ニーズの受け皿となることにより、当社グループは質量ともに圧倒的な集客力を確保してまいりました。

これにより来店型店舗「保険市場（ほけんいちば）」においては、徹底したお客様志向の相談体制の下で新規契約の増加を図り、「Web to Call to Real」の効率的・効果的な営業体制を実現すると共に、ますます需要が高まっているネット完結型保険商品の販売力強化も併せて実現しております。

また、着実に増加しているお客様情報を活用するために、元受保険会社及び来店型保険ショップやコンサルティング営業を展開する他の保険代理店と協同して対応する「協業」戦略を更に強化してまいります。

今後とも、「お客様が最適・快適な購買環境で、簡単便利に保険を購入いただく」ことを基本方針とし、あらゆる保険ニーズに対応できるプラットフォーム戦略を推進し、お客様のニーズに機敏に対応してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,626百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益は108百万円（前年同期比10.0%減）、経常利益は100百万円（前年同期比285.5%増）、四半期純利益は71百万円（前年同期比98.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

保険代理店事業におきましては、営業収益は1,585百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は100百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

広告代理店事業におきましては、売上高は50百万円（前年同期比46.6%減）、営業利益は8百万円（前年同期比31.8%減）となりました。

再保険事業におきましては、元受保険各社との紐帯強化をベースに、当第1四半期連結累計期間における売上高は31百万円（前年同期比68.2%増）、営業損失は0百万円（前年同期5百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は263百万円増加し6,352百万円、負債は439百万円増加の2,789百万円、純資産は175百万円減少の3,563百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加305百万円であります。負債の増加の主な要因は、短期借入金の増加384百万円であります。また、純資産の減少の主な要因は配当等による利益剰余金の減少88百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年11月11日付の「平成23年9月期決算短信」にて公表いたしました平成24年9月期の連結業績予想をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

当社は、当第1四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第1四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、以下のとおりです。

1株当たり四半期純利益金額 332円04銭

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 330円11銭

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(資産除去債務の計上)

当社グループは、本社及び店舗等における不動産賃貸借契約に基づき、契約終了時における原状回復義務を負っておりますが、前連結会計年度において当該債務に関する賃借資産の使用期間が明確でなく、原状回復義務の履行時期を合理的に見積もることが困難であることから、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりませんでした。当第1四半期連結会計期間において、店舗については当該債務に関する賃借資産の使用期間及び原状回復義務の履行時期を合理的に見積もることが可能となったため、新たに資産除去債務44,527千円を計上し、使用見込み期間(7年~10年)に渡って費用処理しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	420,089	725,843
受取手形及び売掛金	1,726,848	1,731,545
繰延税金資産	147,345	147,345
その他	242,898	267,549
流動資産合計	2,537,181	2,872,283
固定資産		
有形固定資産	500,963	509,139
無形固定資産		
のれん	120,328	113,643
広告実施権等	150,496	141,133
ソフトウェア	407,881	372,207
その他	113,854	106,702
無形固定資産合計	792,562	733,687
投資その他の資産		
投資有価証券	171,940	165,155
保険積立金	1,121,175	1,121,311
差入保証金	651,715	652,114
繰延税金資産	207,469	201,377
その他	94,619	87,936
投資その他の資産合計	2,246,920	2,227,894
固定資産合計	3,540,445	3,470,721
繰延資産	11,495	9,910
資産合計	6,089,122	6,352,915
負債の部		
流動負債		
短期借入金	701,000	1,085,000
未払法人税等	34,761	9,990
賞与引当金	119,810	61,570
店舗閉鎖損失引当金	-	5,003
代理店手数料戻入引当金	34,804	63,203
その他	748,527	820,098
流動負債合計	1,638,903	2,044,865
固定負債		
社債	360,000	360,000
退職給付引当金	86,017	93,693
資産除去債務	-	44,527
その他	265,558	246,712
固定負債合計	711,575	744,933
負債合計	2,350,478	2,789,799

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,915,314	2,915,314
資本剰余金	483,707	475,193
利益剰余金	544,751	456,624
自己株式	212,873	293,525
株主資本合計	3,730,900	3,553,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,682	7,449
その他の包括利益累計額合計	5,682	7,449
新株予約権	2,060	2,060
純資産合計	3,738,643	3,563,116
負債純資産合計	6,089,122	6,352,915

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,715,171	1,626,459
売上原価	540,142	450,982
売上総利益	1,175,029	1,175,476
販売費及び一般管理費	1,054,242	1,066,778
営業利益	120,786	108,698
営業外収益		
受取利息及び配当金	569	449
その他	4,395	450
営業外収益合計	4,965	899
営業外費用		
支払利息	7,764	5,648
開発費償却	10,055	-
保険業法第113条繰延資産償却	63,736	-
その他	18,005	3,002
営業外費用合計	99,562	8,650
経常利益	26,189	100,947
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,274	-
投資有価証券売却益	-	1,309
特別利益合計	1,274	1,309
特別損失		
投資有価証券売却損	-	8,779
店舗閉鎖損失	19,948	5,012
その他	941	4,957
特別損失合計	20,889	18,749
税金等調整前四半期純利益	6,574	83,508
法人税、住民税及び事業税	7,045	5,800
法人税等調整額	-	5,865
法人税等合計	7,045	11,665
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	471	71,843
少数株主損失()	36,731	-
四半期純利益	36,260	71,843

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	471	71,843
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	263	1,766
その他の包括利益合計	263	1,766
四半期包括利益	734	73,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,996	73,609
少数株主に係る四半期包括利益	36,731	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	保険代理店 事業	広告代理店 事業	損害保険事 業	再保険事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,582,556	79,834	34,036	18,744	1,715,171	-	1,715,171
セグメント間の内部売上 高又は振替高	55,363	14,626	-	-	69,989	69,989	-
計	1,637,919	94,460	34,036	18,744	1,785,160	69,989	1,715,171
セグメント利益又は損失 ()	115,982	12,149	-	5,705	122,426	1,639	120,786

(注)1.セグメント利益又は損失()の調整額1,639千円にはセグメント間取引消去435千円及びのれんの償却額1,203千円が含まれております。

2.セグメント利益又は損失()は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	保険代理店事 業	広告代理店事 業	再保険事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,560,037	34,899	31,521	1,626,459	-	1,626,459
セグメント間の内部売上 高又は振替高	25,310	15,555	-	40,865	40,865	-
計	1,585,347	50,455	31,521	1,667,324	40,865	1,626,459
セグメント利益又は損失 ()	100,625	8,286	364	108,548	150	108,698

(注)1.セグメント利益又は損失()の調整額150千円にはセグメント間取引消去150千円が含まれております。

2.セグメント利益又は損失()は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3.前第1四半期連結累計期間において、「保険代理店事業」、「広告代理店事業」、「損害保険事業」、「再保険事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、平成23年6月1日付でアドリック損害保険株式会社が、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社に吸収合併されたことにより、「保険代理店事業」、「広告代理店事業」、「再保険事業」の3つに変更しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。